

市政に対する

一般質問

一般質問は、提出された議案にかかわらず、市政全般に対して、議員が執行者の考え方をたずねることができるものです。12月定例会では、12月10日・11日の本会議で15人の議員から質問が行われ、論議が繰り広げられました。以下は質問・答弁の概要です（掲載は質問順、5ページまで続きます）。

学校や商店会への防犯カメラ設置に向けた取り組みは

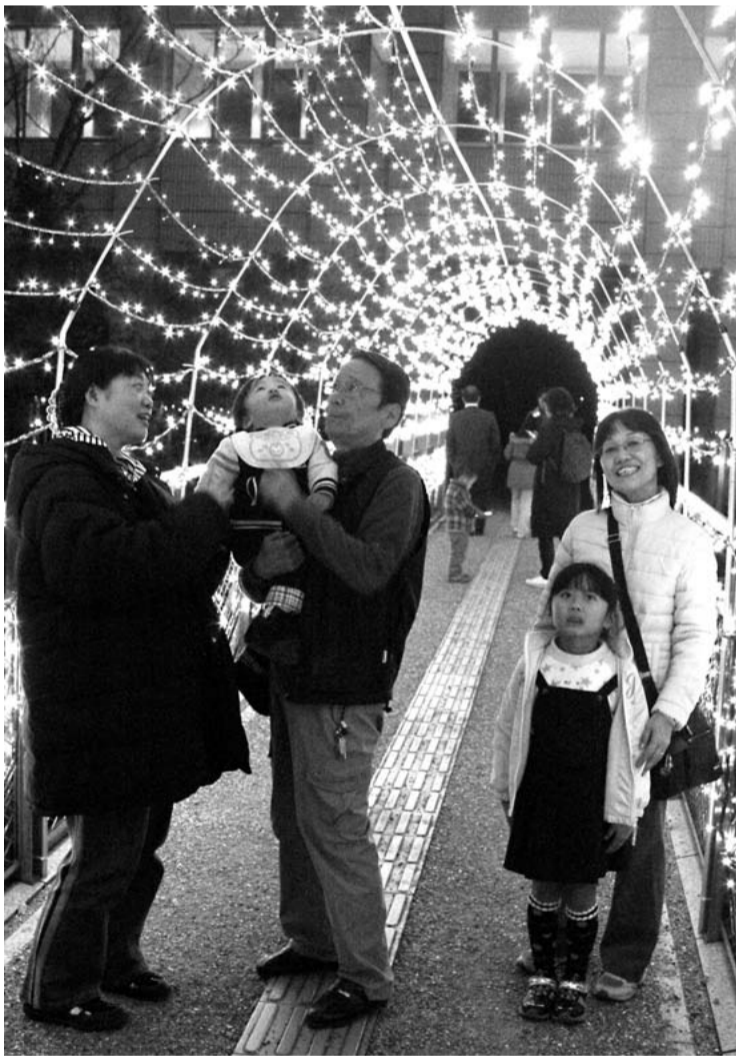
公明党 井上 賢二

問 小田原市では、昨年末から、学校施設の窓ガラスが割られるなどの事件が相次いでいますが、パトロールを強化し、防犯カメラを設置することで沈静化した。このように、防犯カメラの犯罪抑止効果は大いに期待できるものがある。児童・生徒の安全確保は急務であり、小・中学校への防犯カメラ

の設置を望むがどうか。また、商店会からも防犯カメラ設置の要望があるが、取り組み状況はどうなっているか。千葉県茂原市では、リース期間を10年とする防犯灯のLED化を進めているが、本市の取り組み状況はどうか。

答 小・中学校では、登下校時以外の閉門や機械警備システムの導入などの不審者防止対策を図っている。防犯カメラは、より安全性を確保する必要があり、学校からの要望も多いことから、導入を検討している。また、今年度、国の助成制度を活用し、綾北商店会が4台設置する予定である。ほかの商店会から要望があった場合も、助成制度を活用していきたい。防犯灯のLED化は、リース方式やエスコ方式などの手法を検討している。中・長期的な費用対効果が見込める場合は、早期に切り替えていきたい。

（ほかに「災害対策基本法改正案と本市の取り組みについて」「高齢者対策について」を質問）



12月7日から1月12日まで2013綾瀬イルミネーションが開催されました。約3万球の電飾が、満天の星空さながらに冬の夜を幻想的に彩りました<市役所南側広場にて>

総合福祉会館は健康づくりの拠点としての整備を望む

新政会 橘川 佳彦

問 総合福祉会館として再整備を検討している福祉会館は、高齢者の憩いの場としての利用が大半である。このような施設として考えれば、今は市内各地域の施設を充実させるべきで、中央部に、現在の福祉会館をそのまま再整備すべきではない。日本は超高齢化社会となっており、保

健医療センターを基軸に、健康、子育てなどの相談や子どもから高齢者までの健康づくりを支援する拠点として、センター機能に特化した施設にすべきと考える。3月定例会では、基本設計の前に、十分検討することだったが、現状はどうなっているか。

答 総合福祉会館に必要な機能を検討する中で、要介護高齢者の支援や子育てしやす

い環境づくりには、関連機能の連携強化が重要との認識に至った。このため、地域包括ケアを統括する基幹型地域包括支援センターを整備するほか、保健医療センターを移転させることで、保健予防機能とも連携した要介護高齢者支援の中核となる機能を備えた施設にしていきたい。さらに、子育て支援センターを新たに設置し、保健医療センターが持つ母子保健機能との連携強化を進め、子育て・育児支援の中心的な機能も兼ね備えた施設にしていきたい。

（ほかに「子どもたちのための教育環境について」を質問）

地球温暖化防止を環境基本計画の大前提に位置付けを

改革フォーラム 安藤多恵子

問 環境基本計画の見直しに当たっては、これまでとこれからの10年の違いを認識する必要がある。台風やゲリラ豪雨などが、地球温暖化の影響によるものと危機感を持つ市民は多い。地球温暖化防止を計画の大前提に位置付けるべきではないか。実社会ではエコカーやLEDなどの環境

ビジネスが成長している。地域経済にも寄与するものだが、産業振興マスタープランでの位置付けはどうなっているか。また、環境分野は広くて深い。エキスパートコース制度を活用し、専門知識を持った職員を育成しないか。

答 計画案には、「低炭素社会の構築を目指す」と記載し、温暖化対策を進める内容としており、目指す方向は同じと

考えている。来年度は、個別計画を策定し、地域の温暖化対策も積極的に推進していきたい。平成22年に策定した産業振興マスタープランには、新分野の推進、支援を盛り込んでおり、環境分野に対する支援も位置付けている。また、エキスパートコース制度は、実施から7年が経過した。現制度の趣旨はそのままに、職員の意欲向上などを目的として、制度を見直している。

（ほかに「市民の視点から事業や制度を見直し、より市民の立場に立った市政を」「受益者負担の原則を改めて問う」を質問）

